

## 使命

横浜市立篠原中学校

三年 松本 芽

私たちの生活に欠かせない「水」。それは自然が与えてくれた、私たちの体に直接必要不可欠な資源です。日々の生活で何気なく使っている水が、いかに貴重かを再認識することは、今の時代において非常に重要なことです。

水は私たちの体の約60%を占めています。デリケートでありながら、目に見えない部分で私たちの健康を支えています。毎日飲む水、料理に使う水、そして清掃に使う水。私たちの日常生活は水なしには成り立ちません。つまり、水の存在は私たちが思う以上に身近で大切なのです。

私は、小学校から中学校までの夏休みに様々な国に行きました。そこで驚いたのが世界では水道インフラが整

っていないということです。例えば水を飲むときやシャワーのときでも日本のように勢いが出なくて満足に体を洗えなかったり、水を飲むときは飲料水を別に買ったりする必要がありました。

世界には水が不足している地域が多く存在します。そうした地域では、人々は清潔な水を手に入れることができず、飲み水の確保に苦労しています。この現実を知ると、日本では、整った水道インフラが整備されていることがどんなに恵まれていることがわかります。私たちは清潔な水を直接手に取ることができません。この恵まれた環境を、当たり前だと思ってしまうよう、他の国までを見通す広い視野を持ち続けることが大切です。

また、水を適切に管理することは、環境問題とも密接に関わっています。私たちの消費行動が、水資源に与える影響を考えることが必要です。無駄な水の使用を減らし、再利用可能な水を大切にすることを、将来にわたって水を守るための大きな一歩になります。水道局の取り組みも、この意識を高めるためには欠かせない重要な役割を果たしています。

私は、この作文の内容について調べていくうちに、水

の重要性を再認識し、自らの生活の中で意識的に水を使おうと思いました。水を大切にすることは、自分だけでなく、未来の世代へと繋がる大切な責任です。水は、ただの液体ではなく、私たちの命と深い関わりがあります。これからも水の恩恵を感じながら、資源としての水を大切にしていきたいと思いました。

水の大切さを理解し、より良い未来を築いていくために、私たちは何ができるのかを共に考えていくことが大切です。水は決して私たちのものだけではありません。未来のために、水をきれいに保つことが、私たちの役目なのです。